

一般社団笑にゃんこ王国^{にこ}

事業方針と計画報告書

企業理念

「地球上全ての生きとし生けるものが、それぞれを尊重し合い信頼し合うことで等しく[幸福に生きること]を全うできる世界の確立」

活動内容

「人と動物の真なる共生の実現を目指す為の様々な活動」

○事業を始めたきっかけ

私、法人代表の引間貴子が埼玉県秩父市でペンション運営事業を始めた際、地域に沢山の捨て猫がいる事に気づきました。すぐに保護を開始しましたが、その数は減るどころか増加の一途を辿りました。人生のパートナーとして暮らしていくべきはずであった人間が、その命をまるで消耗品であるかの如く放棄したからです。それは社会の閉塞感により他人を軽んじる（命を軽んじる）ことに抵抗感がなくなってしまった事に起因すると考えています。

私は憤りを覚えました。それと同時に、放棄された動物の保護は自身の使命なのではないかと考えたのです。

まず、保護を継続しつつ本来その様な権利は私にはないと抵抗を感じつつも、止む無く避妊去勢手術を施し、無為な増加を防止しました。

保護継続の中で、外飼いの動物たちは車に轢かれたり、野生の動物に捕食されたりという事実を目の当たりにしました。古くから、人間のパートナーとして共生してきた猫達は、いまやモノ扱いで社会の閉塞感に毒された人間たちのエゴの犠牲になっていたのです。

私は保護猫を飼育し、里親さんを見つけるためのシェルターを作り、賛同して頂ける獣医師を探し動物病院を作り、現在までに約200匹以上の避妊手術を行い、里親さんの元には100匹以上お届けしました。現在、獣医師が高齢化の為病院は一時休業を余儀なくされており、その代替案として保護猫を引き取って頂ける方への橋渡しを行うべく、笑にゃんこ王国を設立しました。

笑にゃんこ王国は、豊かな自然にかこまれた秩父市にあり、保護施設の面積も広く猫たちのストレスを軽減し、放置や虐待を受けていた猫たちをやさしく包み癒していきます。そして、私たちの活動へ賛同して頂ける方への橋渡しを行うことで、猫との生活を真に望んでいる方と、寂しい思いをしてきた猫たちとの幸せを成就させるべく、日々奮闘しています。

○現在の事業活動（抜粋）

猫保護状況

子猫保護頭数		大人猫保護頭数	
保護頭数	235 匹	保護頭数	47 匹
保護数	178 匹	譲渡数	21 匹
死亡数	39 匹	死亡数	31 匹
残数（引取不可）	9 匹	残数（引取不可）	31 匹

収支（単位：円）2025年

収入の部		支出の部	
譲渡費用	3,268,000	飼育費	3,953,000
施設入場料	2,940,000	医療費	11,165,000
クラウドファンド	1,500,000	人件費	7,779,000
YouTube 配信他	639,000	雑費	9,316,000
寄付金	3,678,000	合計	32,213,000
合計	12,025,000	差引損益	△20,188,000

※年々フードの値段も高騰、またスタッフ人権費も増加の傾向で経営がひっ迫している。

○参考（過年 2 年間の収支）

単位：円	2023 年	2024 年
寄付金	1,585,000	1,901,000
その他収入	8,847,000	6,667,000
収入合計	10,432,000	8,567,000
餌代	3,451,000	3,499,000
医療費	7,355,000	5,671,000
管理運営費（人件費等）	20,383,000	15,057,000
支出合計	31,189,000	24,227,000
差引損益	△20,757,000	△15,660,000

○運営の要

収益の柱である寄付金の為、認知度向上を図る。

- ・3 台のカメラで 24 時間 YouTube で配信
- ・テレビ東京「ペット大集合ぱちたま」出演
- ・NHK 「もふもひモフモフ」出演
- ・NHK 「家族になろうよ」出演
- ・BSTBS 「ねこ自慢」出演
- ・その他各放送局ラジオでも取り上げられています。

○問題点

- ・運営の基本が賛同者からの寄付に依存している（しすぎている）
- ・運営スタッフ全てボランティアとはいかず、保護猫増加に伴う人件費の増加が懸念される
- ・飼育費の高騰
- ・設備維持費の増加
- ・不足資金の大半は私と私の母二人の私財を投じてきたが、母は亡くなり資金的に枯渇傾向にある
- ・認知度向上が一気に上げられない為、寄付の増加もゆるやか且つ継続して行って頂ける方へ提示できる信頼性がまだまだ不足している

○2026年事業計画案

収入の部		支出の部	
譲渡費用	4,000,000	飼育費	4,800,000
施設入場料	3,600,000	医療費	6,000,000
クラウドファンド	6,000,000	人件費	7,200,000
YouTube 配信	3,600,000	光熱費・雑費	4,800,000
食堂・民泊等	4,800,000	合計	22,800,000
合計	22,000,000	差引損益	△800,000

当面はクラウドファンディングや YouTube などを徹底し資金を集めていきつつ、関連事業として隣接建物で軽食提供や古民家を回送した民泊など多角化による収益増を目指し、経営の安定化を図ります。猫たちのストレス軽減の為広さを重視した設備により、

光熱費等のランニングコストがかさみますが、こちらは当団体としてやむを得ないものである為、やはり寄付金の増加を募る為当団体の認知度を高める動きが急務となっていきます。

○近年の状況

最近は、お年寄りが外で猫に餌をあげているケースが増えており、避妊や去勢をしていないため猫が増えてしまう状況が見受けられます。さらに、お年寄りが施設に入ったり、入院したり、亡くなったりすることで飼えなくなった猫たちの保護依頼が増加しています。特に、お年寄りが大事に飼っていた猫は、他の猫との折り合いが難しく、弱っていることが多いです。他の保護猫団体では 60 歳以上の方には譲渡しないところがほとんどですが、お年寄りの方は非常に猫を大事にしてくださるので、シニアボランティアという形で 60 歳以上の方々に気軽に猫たちを見ていただけたらと考えています。

そして、飼えなくなった場合には次の方へと猫たちの命を繋げていければと思います。大切に育てた猫を里親さんの元に届ける際には、トラブルがないようにどんなに遠くてもご自宅にお届けします。

保護猫施設のほとんどが猫をゲージに入れて飼っていますが、私はなるべく広いスペー

スで猫たちが自由に走り回れる環境を提供することをモットーにしています。猫たちは、走ったり登ったり、高いところを歩いたり、狭いところに隠れたり、ハンモックで寝たり、日向ぼっこをしたりと気ままに生きることができます。私は猫たちがこのような環境で幸せに暮らさせることを願っています。

野良猫として来た猫たちは虐待や食べ物に苦労していて、人間に対して不信感を持っていることが多いです。そのような猫たちには、シェルターにいる猫たちが人間と仲良くしている様子を見せて、人間は怖くないと感じてもらえるようにしています。お遊びタイムやおやつタイム、猫カフェに来るお客様とたくさん遊んでもらうこともあります。しかし最近では、その猫だけを大事にしてくれる人の暮らしを提供してあげたいと思うようになり、できるだけ大人の猫たちの譲渡を進めています。

また、設備を充実させ、病気で行くところがない猫たちを保護し、子猫や保護された猫たちの里親さんを見つけてお届けしていきたいと考えています。

○将来展望

当団体は、埼玉県秩父市と僻地にあり、遠方から訪問される方は非常に大変です。お話を伺うと、配信動画を見て頂き北海道や沖縄からいらっしゃる方々もあり、その方達へ食事や簡易的な宿泊場などを提供し、そこでも猫たちと触れ合える環境を作れればと考えています。また、それらの収入も活用し今後も活動をできるだけ長く続けたい、とう考えています。

将来は、野良猫もいなくなり、地域猫たちには避妊去勢手術をきちんと施し、人々の理解を深め、彼らがご飯をちゃんと食べて幸せに暮らしていけるという普通ですが難しい事が自然とできるようになる世界を作りたいです。

2025年4月21日

代表理事 引間貴子